

- 問1 1874年、板垣退助らが政府に対して提出した、特定の藩の出身者による独裁的な「藩閥政治」を批判し、国民が選んだ議員によって政治を行う議会の開設を強く求めた文書の名称を選んでください。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 民撰議院設立の建白書 2. 教育勅語 3. 徴兵令 4. 五箇条の御誓文
- 問2 明治政府が地租改正において、税の基準を「収穫高」から「地価」へ、納入方法を「米（物納）」から「現金（金納）」へと変更した最大の目的は何ですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. 作物の豊凶や米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を得られるようにするため。 2. 江戸時代の石高制を維持したまま、農民が自由に農作物を売買できるようにするため。 3. 小作人の税負担を大幅に軽減し、農村における貧富の差を解消するため。 4. 土地の売買を厳しく制限することで、農民が土地を手放して都市へ流出するのを防ぐため。
- 問3 明治政府が行った地租改正について、それまでの江戸時代の年貢の仕組みと比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
1. 農民の負担を減らして耕作意欲を高めるため、課税基準を土地の面積から収穫高に変更し、米で納めさせた。 2. 豊作や不作に左右されず政府の収入を安定させるため、課税基準を収穫高から地価に変更し、現金で納めさせた。 3. 物価の変動に対応して税収を増やすため、課税基準を米の収穫量から市場価格に変更し、米で納めさせた。 4. 土地の所有権を国が一括管理するため、課税基準を地価から収穫高に変更し、金貨または銀貨で納めさせた。
- 問4 1873年に明治政府が実施した地租改正において、税の算定基準と納入方法の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 土地の面積を基準とし、米で納める 2. 毎年の収穫高を基準とし、貨幣で納める 3. 土地の価格である地価を基準とし、貨幣で納める 4. 毎年の収穫高を基準とし、米で納める
- 問5 福沢諭吉が著書『学問のすゝめ』の中で、「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」と述べ、人間平等の思想を説いた背景や目的を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 西洋の文化をそのまま模倣し、日本の伝統的な習慣をすべて廃止するため 2. 藩閥政治を批判し、国会の開設を求める自由民権運動を推進するため 3. 江戸時代の封建的な身分制度を、新しい法律によって維持し続けるため 4. 学問によって実力を養うことが個人の自立と国の独立につながると考えたため
- 問6 明治政府が発足した当初、江戸を「東京」と改称するとともに、新政府が目指す政治の基本方針として「万機公論に決すべし」などの5か条からなる宣言を出しました。この宣言の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 教育勅語 2. 十七条の憲法 3. 大日本帝国憲法 4. 五箇条の御誓文
- 問7 明治政府が設置した開拓使による都市計画が進められた札幌市中心部において、その景観を俯瞰した際に見られる、建物の配置や道路の区画に関する特徴として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 敵の侵入を防ぐためにわざと道を複雑に曲げた城下町のような街並み 2. 自然の地形に合わせて曲線的に住宅が配置された街並み 3. 寺社を中心に放射状に道路が伸びる門前町のような街並み 4. 碁盤の目状に規則正しく道路が区画された街並み
- 問8 幕末から明治初期にかけての政治的な動きについて、1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返上した出来事、その後に発生した新政府軍と旧幕府軍による一連の内戦、そして1871年に藩を廃止して全国を中央政府が直接治めるようにした改革を、発生した順に正しく並べたものを選びなさい。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 廃藩置県 → 大政奉還 → 戊辰戦争 2. 大政奉還 → 戊辰戦争 → 廃藩置県 3. 戊辰戦争 → 大政奉還 → 廃藩置県 4. 大政奉還 → 廃藩置県 → 西南戦争
- 問9 明治政府が行った地租改正によって、租税の納め方はどのように変化しましたか。それまでの江戸時代の仕組みと比較した説明として正しいものを選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 村ごとに、その年の収穫高に応じた額の現金をまとめて納めるようになった。 2. 土地の所有者が、地価を基準とした一定額の現金を納めるようになった。 3. 土地の所有者が、収穫量に応じた分量の米を納めるようになった。 4. 農民が、収穫した米を市場で売却した利益の半分を納めるようになった。
- 問10 岩倉使節団には、将来の日本を担う人材を育成するために多くの留学生が同行した。この時、当時わずか6歳で同行し、後に女子英学塾（現在の津田塾大学）を創立するなど日本の女子教育の発展に貢献した人物は誰か。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 樋口一葉 2. 平塚らいてう 3. 津田梅子 4. 与謝野晶子
- 問11 明治政府は、近代的な国家運営のための安定した税収を確保することを目的として、地租改正を実施しました。この際、政府が土地の価格（地価）を定め、その所有権を正式に認めるために土地所有者へ発行した証書を何といいますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 口分田 2. 検地帳 3. 惣 4. 地券
- 問12 1871年に明治政府が、岩倉具視を特命全権大使として欧米諸国へ派遣した大規模な使節団について、その主な目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. キリスト教の布教を認める代わりに、軍事支援を求めること 2. 鎖国体制を維持するための、外国船への退去通告 3. 日清戦争の講和条約の締結と、賠償金の支払い交渉 4. 不平等条約改正の交渉と、欧米の進んだ制度や文化の視察
- 問13 明治初期、福沢諭吉などの思想家たちが、欧米の近代的な考え方を日本に紹介し、古い習慣を改めて合理的な社会を作ろうとした動きについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 学問を通じて個人の自立を促し、欧米の思想を広めようとする啓蒙思想が流行した。 2. 天皇中心の政治を確立するため、仏教を排除して神道を国教とする政策を推進した。 3. 武士の特権を守るため、欧米の文化を拒絶して日本の伝統的な生活様式を重視した。 4. 大衆の政治参加を目指し、吉野作造が民権主義を提唱して普通選挙の実現を訴えた。
- 問14 1871年に行われた廃藩置県により、現在の和歌山県域では和歌山県、田辺県、新宮県の三つの県が置かれたのち、和歌山県として統合されました。明治政府がこのように地方の権限を中央に集中させ、国家の統一と統治能力の強化を目指した政治体制を何と呼びますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 中央集権 2. 藩閥政治 3. 大正デモクラシー 4. 地方分権

答え合わせ・解説

問1	答え 1 民撰議院設立の建白書	明治初期、征韓論に敗れて下野した板垣退助や後藤象二郎らがこの文書を左院に提出したことで、自由民権運動が始まりました。彼らは少数の藩出身者が権力を握る現状を批判し、立憲政治の実現を訴えました。選択肢にある徴兵令や教育勅語は、それぞれ軍制や教育の根幹を定めたものであり、議会開設を求めたこの文書とは性質が異なります。
問2	答え 1 作物の豊凶や米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を得られるようにするため。	江戸時代の年貢は収穫高に応じて米で納める仕組みだったため、不作の年や米の価格が下落した年には政府（幕府や藩）の収入が大きく減るという欠点がありました。近代国家を目指す明治政府は、安定した予算を組んで富国強兵や殖産興業を推進する必要があったため、土地の価格を基準に固定の金額を現金で納めさせることで、天候や市場価格に影響されない確実な税収を確保しようとした。
問3	答え 2 豊作や不作に左右されず政府の収入を安定させるため、課税基準を収穫高から地価に変更し、現金で納めさせた。	江戸時代の年貢は米の収穫高に応じて決まっていたため、天候不順による不作などが政府の財政を不安定にする要因となっていました。明治政府はこの問題を解決し、近代化のための安定した財政基盤を築くために、土地の価格（地価）を基準とし、豊作・不作といった作柄に関係なく、一定の額を現金で納めさせる制度を整えました。
問4	答え 3 土地の価格である地価を基準とし、貨幣で納める	明治政府は近代的な国家運営を行うための財源を確保しようとした。それまでの江戸時代のような、作柄によって収める量が変化する収穫高基準の物納（米）を改め、土地の所有者に地券を発行した上で、地価を基準に一定の税率を貨幣で納めさせる仕組みを整えました。
問5	答え 4 学問によって実力を養うことが個人の自立と国の独立につながると考えたため	福沢諭吉は、人間は生まれながらにして平等であるが、現実の社会で賢い人と愚かな人、貧しい人と豊かな人の差が生まれるのは、学問をしたかどうかの違いであると説きました。日常生活に役立つ「実学」を学ぶことで、一人ひとりが独立心を持つことが、国家の独立を維持することにつながると主張しました。
問6	答え 4 五箇条の御誓文	1868年に発布されたこの宣言は、天皇が神に誓う形式で、新しい政治のあり方を示したものです。広く会議を開いて意見を求めることや、これまでの悪い習慣を捨てて国際的な道に従うことなどが盛り込まれており、明治維新における近代化の出発点となりました。
問7	答え 4 碁盤の目状に規則正しく道路が区画された街並み	北海道の開拓の拠点となった札幌などは、欧米の都市計画を参考に、計画的な街づくりが行われました。そのため、古い歴史を持つ本州の多くの都市とは異なり、直線の道路が直交する碁盤の目状の整然とした区画が特徴となっています。
問8	答え 2 大政奉還 → 戊辰戦争 → 廃藩置県	15代将軍の徳川慶喜による大政奉還が1867年に行われ、江戸幕府が終了しました。しかし、その後も権力を維持しようとする旧幕府勢力と新政府軍の間で1868年から戊辰戦争が勃発しました。新政府がこの内戦に勝利して国内を安定させた後、1871年に中央集権体制を確立するために藩を廃止して県を置く廃藩置県が実施されました。西南戦争はこれらよりも後の1877年に起きた士族の反乱です。
問9	答え 2 土地の所有者が、地価を基準とした一定額の現金を納めるようになった。	明治政府は、国家財政を安定させるために地租改正を実施しました。江戸時代までの年貢は、その年の収穫量に応じて「米」を納める物納（物納制）であり、村がまとめて納める仕組みでしたが、地租改正によって土地の所有者が「地価」の3%（のちに2.5%）を「現金（貨幣）」で直接納める仕組みへと大きく転換されました。
問10	答え 3 津田梅子	岩倉使節団には、岩倉具視や木戸孝允、大久保利通といった政府の重要人物だけでなく、5人の少女を含む留学生が同行していました。その一人である津田梅子は、アメリカで長く教育を受けた後に帰国し、女子の高等教育を推進するために私塾を設立し、日本の教育制度の充実に寄与しました。
問11	答え 4 地券	明治政府は、それまでの不安定な年貢制度に代わり、土地の所有者に地価の3%（後に2.5%）を現金で納めさせる地租改正を行いました。このとき、土地の所有権を法的に証明し、納税の義務を明確にするために「地券」が発行されました。これにより、土地は個人の財産として自由に売買や担保にすることが可能になりました。
問12	答え 4 不平等条約改正の交渉と、欧米の進んだ制度や文化の視察	明治政府にとって、江戸時代末期に結ばれた不平等条約の改正は急務の課題でした。そのための予備交渉を行うとともに、日本を近代国家へと成長させるための手本として、欧米の政治、経済、教育などの社会制度を直接学ぶことが派遣の大きな狙いでした。
問13	答え 1 学問を通じて個人の自立を促し、欧米の思想を広めようとする啓蒙思想が流行した。	福沢諭吉は明六社などの活動を通じ、西洋の自由や平等の考え方を日本に広める啓蒙思想の中心的な役割を担いました。吉野作造の民本主義は大正時代の動きであり、時代背景が異なります。福沢は実学（生活に役立つ学問）を重視し、それによって国民一人ひとりが独立することを求めました。
問14	答え 1 中央集権	廃藩置県は、江戸時代から続いた藩を廃止して全国を政府の直接統治下に置くための改革でした。中央から府知事や県令を派遣することで、軍事や税金の管理権限を中央政府に一本化し、近代国家としての基盤を固める狙いがありました。